

第2回豊島区保健福祉審議会専門委員会

○本日の議案

成年後見制度の見直しに向けた検討および
総合的な権利擁護支援策の充実に向けた検討

地域保健福祉計画全体の進捗管理

地域保健福祉計画全体の進捗管理

○令和7年度の進捗管理について

地域保健福祉計画は、区政運営の最高方針である「豊島区基本構想」、区の最上位計画である「豊島区基本計画」のもと、保健福祉分野の共通して取り組む事項を記載し、保健福祉分野の方針を示す上位計画として位置づけられています。(地域保健福祉計画P3参照)



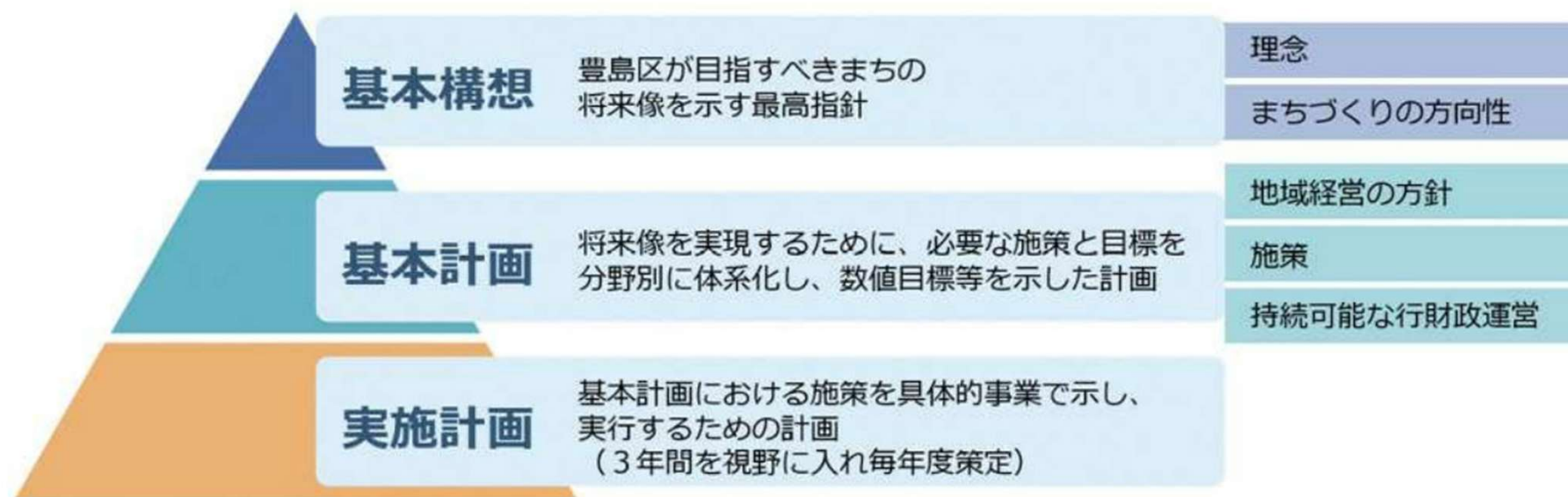
豊島区地域保健福祉計画(P3)

第2回保健福祉審議会では、区の基本計画に紐づく各計画事業に設定した指標の達成状況を示した「主要な施策の成果報告」等を活用し、本地域保健福祉計画に関連する事業を抜粋したものを使用し、進捗管理を行ってきました。しかし、主要な施策の成果報告の公開時期と、保健福祉審議会の開催時期に生じるタイムラグ等から各事業の最新の進捗状況の確認を行うことが困難な状況がありました。

地域保健福祉計画全体の進捗管理

○令和7年度の進捗管理について

区では、豊島区基本計画に示した施策を具体的な事業に結びつけ、実行するための年次計画として、「豊島区実施計画(以下、実施計画)」を策定しています。(地域保健福祉計画施策と基本計画施策・実施計画の関係については参考資料2参照)



豊島区実施計画2025(P4)

昨年度の実施方法に倣い、実施計画等を活用した進捗管理を行う場合、実施計画2025を活用することとなりますが、同計画は令和7年4月にパブリックコメントを実施した上で同年5月に公開しており、広く意見を募集した上で、公開から一定期間を経過した情報に基づく進捗管理を行うこととなります。

地域保健福祉計画全体の進捗管理

○令和7年度の進捗管理について

また、実施計画に示された計画事業は、基本計画を実施するための包括的な事業となっており、下図のように複数の予算事業から構成されている場合や、予算を伴わない事業や取組、社会福祉協議会の事業等については掲載されていないため、完全に一致するわけではありません。(参考資料2参照)

例:基本計画施策3-①-1

どんな悩みごとでも受け止める相談体制の強化

実施計画における計画事業名

福祉における包括的相談支援事業《一部介護保険事業会計》

計画事業に対応する予算事業名等

コミュニティソーシャルワーク事業経費(一部)、
基幹型地域包括センター運営経費(R6まで)、
地域包括支援センター運営事業経費【拡】、
介護予防マネジメント強化事業経費(介護保険事業会計)、高齢者見守り支援事業経費(一部)

3. 生涯にわたり健康で、地域で共に暮らせる福祉のまち

3-①-1 どんな悩みごとでも受け止める相談体制の強化

84	3-①-1	1	福祉における包括的相談支援事業《一部介護保険事業会計》 (福祉総務課、高齢者福祉課)	
概要	支援を要する区民の相談を、包括的に受けとめ、一人ひとりの状況に応じ適切な支援を行っていく。			
R5実績		R6予算		R7計画
●コミュニティソーシャルワーク事業 個別相談支援件数 10,158件 暮らしの何でも相談会実施回数 344件		●コミュニティソーシャルワーク事業 個別相談支援件数 11,500件 暮らしの何でも相談会実施回数 350件		●コミュニティソーシャルワーク事業 個別相談支援件数 12,400件 暮らしの何でも相談会実施回数 350件
●見守りと支え合いネットワーク事業 訪問延べ世帯数 2,415件		●見守りと支え合いネットワーク事業 訪問延べ世帯数 2,880件		●見守りと支え合いネットワーク事業 訪問延べ世帯数 2,880件
●高齢者総合相談センター運営事業 (8か所) 相談件数(延べ件数) 67,479件		●高齢者総合相談センター運営事業(8か所) 相談件数(延べ件数) 66,000件		●高齢者総合相談センター運営事業(8か所) 相談件数(延べ件数) 68,000件
事業費 (一財)	546,459千円 (143,486千円)	574,009千円 (156,649千円)	590,818千円 (168,795千円)	
R8,9の 方向性	包括的な相談支援体制の推進			
成果 指標	福祉における相談支援件数 (コミュニティソーシャルワーク事業における個別相談支援件数、高齢者総合相談センターの相談件数) (件)			
	計画値	実績	達成率	R6計画値
	63,000	77,637	123.2%	78,400
				R7計画値
				81,300
活動 指標	コミュニティソーシャルワーク事業の暮らしの何でも相談会の実施回数 (回)			
	計画値	実績	達成率	R6計画値
	344	344	100.0%	350
				R7計画値
				350
備考	コミュニティソーシャルワーク事業経費(一部)、基幹型地域包括センター運営経費(R6まで)、地域包括支援センター運営事業経費【拡】、介護予防マネジメント強化事業経費(介護保険事業会計)、高齢者見守り支援事業経費(一部)			

豊島区実施計画2025(P73)

※豊島区実施計画2025は区HPをご参照ください。⇒ <https://www.city.toshima.lg.jp/001/2506021501.html>



地域保健福祉計画全体の進捗管理

○令和7年度の進捗管理について

昨年度実施した第2回保健福祉審議会のご意見等を踏まえ、包括的な進捗状況については、実施計画をご確認いただくこととし、地域保健福祉計画に記載された31の取組方針の中から、当該年度で実施した事業を1つピックアップして紹介し、進捗状況を確認する方法により、進捗管理を実施します。

令和6年度での進捗管理	寄せられた意見	令和7年度の進捗管理
「主要な施策の成果報告」「事務事業進捗状況確認表」などの公表データを使用するため、前年度までの実績で評価	令和6年度からの計画で令和5年度の事業の実績を見せることに疑問を感じる	令和7年10月1日時点での達成状況で評価 (一部指標が出せないものを除く)
保健福祉分野の上位計画であるため、関連事業が膨大	事業が多すぎる 指標の見方がわかりにくい	31取組方針の記載内容を踏まえ、1事業に絞って紹介
10施策31取組方針ごとに評価するため、関連事業の評価を平均した数値で評価	複数事業の平均値では各事業の問題点が見えにくい	紹介事業の評価を掲載し、取組方針ごとの評価は行わない (あくまで紹介事業の評価であり、取組方針についての評価は行わない)
行政評価と同様の達成基準を使用(130%以上=5点、以下達成率減少に連れ点数減)	達成基準が100%以上あるのはわかりにくい	指標および数値に表れない事情を踏まえ、事業の進捗状況に応じ、各所管課が総合的に評価

地域保健福祉計画全体の進捗管理

○令和7年度の進捗管理について

施策の体系

施策	取組方針
① すべての区民を対象にした重層的な支援	● コミュニティソーシャルワーク機能強化による一体的な支援 ● 地域生活を支える継続的な支援
② どんな悩みごとでも受け止める相談支援体制の構築	● 専門相談支援機関の強化 ● より身近な地域の相談先の充実 ● 包括的な相談支援体制の確立に向けた分野横断・連携の強化
③ 本人が望む社会とのつながりや参加を支えるために	● 多様な社会参加の促進 ● 文化の力を活かした社会参加支援 ● 多様な働き方に向けた支援 ● 多様な住まい方に向けた支援 ● すべての子ども・若者に向けた参加支援 ● 多文化共生の促進
	● 地域における新たな支え合い活動の促進と担い手の養成 ● 地域コミュニティの拠点づくりと多彩な居場所づくり

昨年度実施した第2回保健福祉審議会でのご意見を踏まえ、令和7年度は、1つの取組方針につき、1事業をピックアップして紹介することとします。

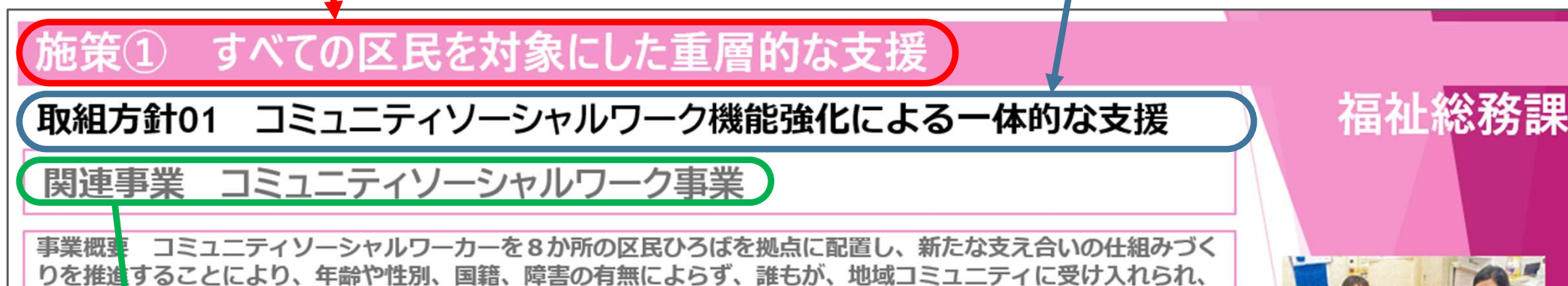
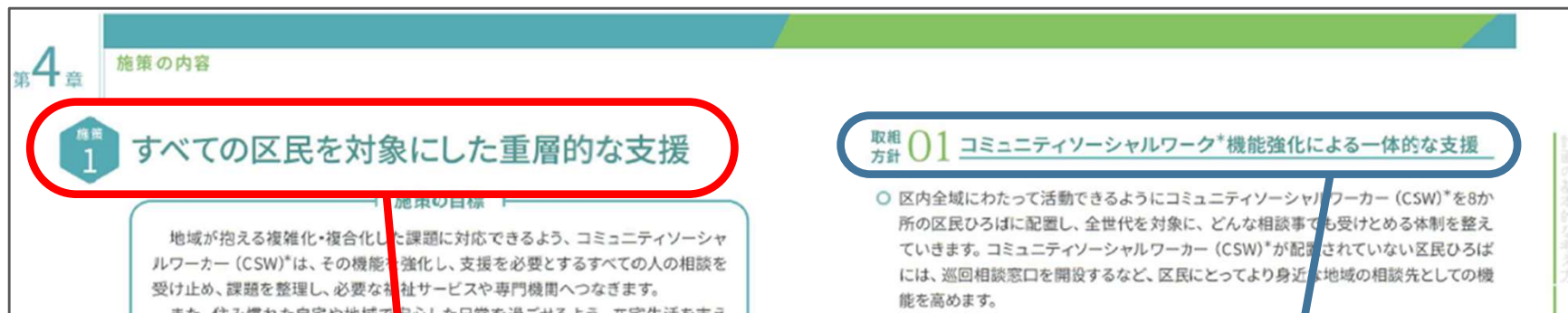
また、これまでは取組方針に紐づく全ての事業の平均評価で、各取組方針を評価していましたが、平均評価とすることで個別事業の評価が見えにくいといったご意見もあったことから、取組方針ごとの評価も実施しないこととします。

豊島区地域保健福祉計画(P38)

地域保健福祉計画全体の進捗管理

○令和7年度の進捗管理について

豊島区地域保健福祉計画(P40・41)



令和7年度進捗管理シート

令和7年度に紹介した関連事業は、地域保健福祉計画の記載内容を踏まえ、当該年度に実施した取り組みから1事業を選定したもので、同事業を次年度以降も継続的に進捗管理するものではありません。

地域保健福祉計画全体の進捗管理

○令和7年度の進捗管理について

令和7年度進捗管理シート

施策① すべての区民を対象にした重層的な支援

取組方針01 コミュニティソーシャルワーク機能強化による一体的な支援

関連事業 コミュニティソーシャルワーク事業

事業概要 コミュニティソーシャルワーカーを8か所の区民ひろばを拠点に配置し、新たな支え合いの仕組みづくりを推進することにより、年齢や性別、国籍、障害の有無によらず、誰もが、地域コミュニティに受け入れられ、共に支えあい、居心地が良く安心して暮らせる、“誰一人取り残さない”地域共生社会の実現を目指す。

令和7年度上半期の取組状況

○「暮らしの何でも相談会」
相談者数320名
○講演会等 参加者数120名
○地域活動の新規立ち上げ件数
15件
○ぷらっと※
参加者数 500名
※地域住民・地域活動団体等の
情報共有・意見交換会

課題

○来所できない人への相談対応
○新たな地域の担い手の発掘・
確保
○地域住民や活動団体の連携
強化

今後の対応方針

○インターネットを活用した相談
対応の導入検討
○相談者の類型からニーズの検証
○「ぷらっと」に集めた提案の
具現化

福祉総

事業の効果を示す代表的な指標を1～2つの指標を記載しています。指標は、可能な範囲で現状値を示すこととしています。（一部事業によって、令和6年度末の指標を使用しています。）

本シートに掲載している関連事業についての所管部署での10/1時点での評価を記載しています。掲載している指標のみの評価ではなく、指標に表れない取組等も勘案した評価となります。
※取組方針全体の評価ではありません。

事業の効果を表す代表的な指標（現状値（9月末時点）及び各年度末の目標値）

指標	現状値	R7	R8	R9	R10	R11
個別相談件数	10,500件	11,000件	12,000件	13,000件	14,000件	15,000件
連携した地域団体件数	289件	290件	300件	310件	320件	330件

所管課による評価
(R7.10.1時点)

評価

B

A・・・目標を大きく達成している
D・・・目標を下回っている

B・・・目標を達成している C・・・概ね順調に進んでいる
E・・・目標を大きく下回っている

本日ご議論いただきたい事項

○令和6年度第2回保健福祉審議会での意見等を踏まえ、進捗管理の方法を変更しています。進捗管理の方法および、紹介した各進捗管理シートの事業についてご審議いただきますようお願いいたします。

- ・第6期地域保健福祉計画全体の進捗管理方法について
- ・進捗管理シートにて紹介した各関連事業の取組について
- ・次年度以降の進捗管理において、確認したい事業について